

— 渋谷区政報告 —

渋谷区議会議員

2018年夏号

近藤じゅん子

公明しぶや

発行：渋谷区議会公明党 渋谷1-18-21渋谷区役所仮庁舎内



“住みやすい街・しぶや”を目指し、日々、活動しております。
その一部をご紹介させていただきます。

6/18に発生した大阪北部地震を受け「学校施設・通学路の安全点検」の要望書を提出しました！

地震により、小学校のブロック塀が倒壊する痛ましい事故が起きました。子どもたちの安心・安全を守るために、区内の全公立小中学校の施設及び通学路の緊急点検を行うよう、区に要請いたしました。



私が提案した「がん教育」の授業が広尾小学校で実施されます！

私が提案した「がん教育」の授業が、2019年2月に実施されます。講師の東京女子医科大学がんセンター長、林和彦先生は、「私は、がん教育を通じて、自分のいのちを大切にすることを学んだ子ども達は、いずれは他人のいのちを思いやり、国の将来をも考えられる大人になってくれると信じています。」と語られています。



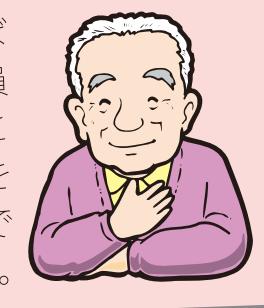
地域で支え合う街づくりへ、出前式「認知証サポーター要請講座」開催！

区議会公明党が推進してきた“地域包括ケアシステム”的一環として、出前式「認知証サポーター養成講座」が実現し、ときわ松町会の皆様と開催しました。認知証に対して正しく理解し、地域ができる事を探し、相互扶助、協力、連携のネットワーク構築へ。さらなる拡大に尽力して参ります。



特養老人ホームの申し込みを簡素に便利にしました！

2017年より、特別養護老人ホームへの入所希望者は、複数の施設への申し込みが可能となりましたが、その場合、それぞれの施設に申し込まなければなりませんでした。私が、福祉保健委員会で、緊急を要する入所希望者もいることから、一括で申し込む仕組み作りをと訴えた結果、今年8月から、一箇所で一括して申し込むようになりました。



女性視点の防災対策が、9月開催の渋谷区防災フェスに盛り込まれました！

提案した「女性視点の防災対策」が、9/1～2に代々木公園イベント広場で開催される「渋谷防災フェス2018」の中でブース展開します。平日の昼に発災した場合、男性は職場にいて、地域は女性しか残っていないケースも。この機会に、女性視点で母子の安全確保・防災対策を考える契機としてください。



区内の防犯カメラが増設されます！

区議会公明党の要望で、区立小中学校全18校の通学路に、1校あたり5台、計90台が設置された防犯カメラ。さらなる増設を要望した結果、平成30年～31年の2年で、新たに100台の増設と、区立公園に24台の設置が決まりました。今後も、「安心・安全のまち渋谷」へ向け、防犯対策を強固にして参ります。



恵比寿をキレイに！「恵比寿花LOVE」をお手伝い♥

東恵比寿商工会を中心に、町会、企業等、多くの方が集まって、恵比寿の美化活動「恵比寿花LOVE」の夏季・花の植え替えが実施されました。私もこの地域に根ざした素晴らしい活動をお手伝い。暑い中、地域のために汗を流す皆様に感謝です。



地域の防災意識向上へ避難行動訓練シミュレーションワークを実施！

地域の皆様と「避難行動シミュレーションワーク」を開催。居住環境や災害、救助者の有無などをランダムにカードで選び、速やかに避難行動を考えます。災害時は地域ぐるみの自助、共助がとても大切。今後、この取り組みを、区内の各町会さんに広げていきたいと考えています。



渋谷区LINEで、子育て情報を配信、妊娠期のサポート充実へ！

昨年、LINEを通じた妊娠相談窓口の周知を提案。随時、保健師・栄養士・歯科衛生士による相談窓口を周知しました。他にも子育てに関する様々な情報、年齢や地域に合わせて、子どもの予防接種、健診等に関する情報、や、保育サービスに関する情報が配信されています。



産後ケア事業が充実します！

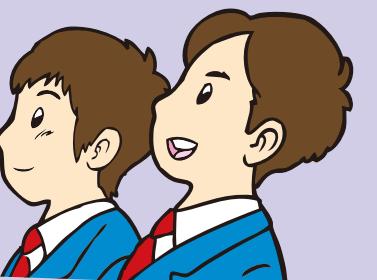
平成30年度より、「宿泊型産後ケア事業」が拡充。第一子を出産し、不安を感じている新米ママに対し、助産院等に宿泊してもらい、産後の不安を解消。母体の回復や産後うつ予防をしっかりケアします。また、助産師による母乳相談を拡充し、『卒乳』への相談にも対応します。さらには、産後うつに対する正しい知識を、パートナーや家族と共に学び、早期発見につなげます。



入学準備金支給を前倒しました！

区議会公明党が、昨年9月の第3回定例会に於いて、入学前の支給を実施するよう、強く要請したのを受け、渋谷区では本年3月より、中学校入学予定者に前倒し支給が実現しました。

また、小学校入学予定者についても、速やかに実施するよう要望しており、来年3月支給を目標に検討を進めています。



渋谷区でも「被災者生活再建支援システム」が導入されます！

区議会公明党が提案した「被災者生活再建支援システム」が、渋谷区でも導入され、罹災証明が、よりスマートに発行できるようになります。また、帰宅困難者対策協議会が、平成29年に原宿駅周辺に設置されましたが、本年は恵比寿駅周辺にも設置され、発災時の恵比寿駅周辺の避難体制を整備します。



2018.7.23 西日本豪雨災害街頭募金を実施

皆様の声を区政に活かします！

お困り事や、ご要望など、何でも、お気軽にご相談ください。

渋谷区議会議員

近藤じゅん子

渋谷区議会公明党控室

TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962

携帯 090-2221-7507 メール jkondo0426@gmail.com

ブログ <http://ameblo.jp/kondo-junko>

ホームページ(近藤じゅん子オフィシャルサイト) kondo-junko.com ※5月よりリニューアル



道路とパーキングの段差を解消！

六本木通りから入った路地。コインパーキングの敷地との境に縁石がありました。現場は鈍角の左カーブで視界も悪いうえ、なだらかな下り坂になっているため、縁石にタイヤを取られた自転車の転倒事故が多発。アスファルトで縁石との段差を埋めて、転倒防止策を講じました。



自転車用、歩行者用の「止まれ」マークを標示しました！

駒沢通りと交差する東2丁目の狭い路地。駒沢通りの歩道は下り坂となっており、自転車もスピードが出やすい場所。出会い頭の事故など、危険が多い地点のため、路地側の自転車、歩行者に一時停止を促す標示をつけました。



地域の方々のご要望を受け、比丘橋の生い茂った木々を伐採しました！

地域の方のご要望を区に伝え、土木部、公園課の職員が粘り強く都と交渉。区・都の連携により伐採へ。見通しも良くなり、交通事故等のリスクも軽減できました。



「止まれ」の標示を鮮明に！

東3丁目の庚申橋から明治通りに出る交差点。一時停止の表示にも関わらず、停止線で一旦停止しない車両が多く、「見通しが悪いので、停止線で停まらないと大変危険」との、地域の方からのお指摘をいただきました。早速、区の道路課に掛けあつた結果、目立つ赤地の立派な「止まれ」標示になりました。



マンホールと道路の段差を解消！

浮き上がったマンホールで大きな段差が出来ていた箇所。「つまずきやすい」、「自転車で乗り上げると危険」など、地域の方々のお声をいただき、アスファルトで道路を盛り上げて段差を解消。暗い夜道も安心して歩ける道路に戻りました。



街路樹を剪定！

国学院大学付近の道路の街路樹を剪定しました。この付近はバス通りでもあるため、自転車が歩道を通行するケースも多い箇所。街路樹が歩道のスペースを狭め、歩行者とのすれ違いに危険を伴っていました。そこで、街路樹を剪定し、歩道を広く使えるようにしました。



「歩行者禁煙」の路面標示を設置！

東京女子館と日本赤十字社医療センターの間の道路。バス停も近くにあり、歩道での喫煙や、ポイ捨ても見受けられました。学校や病院の正面でもあり、喫煙は特に控えていただきたい場所。「渋谷分煙ルール」を周知するため、道路に標示いたしました。



区立広尾公園の樹木の根上りを改善し、段差を解消しました！

広尾公園内の樹木。根っこがアスファルトを持ち上げていて、「つまずきやすく、公園で駆け回る子どもたちにも危険」とのお声をいただき、改善工事を施し、危険な段差を解消。子どもたちも安心して遊べるようになりました。



皆さまのお声を実現しています。

— 3年間の実績の一部を紹介します —



SNSでも活動を発信しています。

近藤じゅん子



ホームページ



ブログ



フェイスブック

明治通りの恵比寿橋入口に信号を設置しました！

あいおいニッセイ同和損保横から恵比寿橋を経て、明治通りに出る交差点。地域の方からご要望をお聞きし、都へ協力を要請し、新たに信号を設置いたしました。これにより車両は広尾方面にも出られ、利便性が良くなつたほか、歩行者用信号や横断歩道も設置され、歩行者の安全も確保されるようになりました。



近隣の方のご要望で、カーブミラーを設置！

「見通しが悪いため、出会い頭の事故などが起こりやすく危険」とのご相談を受け、さっそく道路課へ要望を提出。職員の迅速な対応により、新橋出張所裏の狭い路地に適した、2tトラックの通行の妨げにならない、小型サイズのカーブミラーを設置いたしました。

